

平和と平和共存、反独占民主主義
平和・民主・労働運動統一のために
大衆的青年同盟建設のために

青年の旗

第62号

編集 労働青年同盟(仮称)結成準備会
発行 青年の旗社
振替 東京6-40103 大阪37542 名古屋4650
一部200円、定期購読 年間三千円(送料込み)

収奪路線に徹底反撃を

生活防衛！82春闘勝利！

反軍拡・反行革のうねりを 大衆闘争の力で創出しよう



減税実現へ 新たな闘いを

予算国会は、一兆円減税の実施について明確な取扱いを決めないまま、衆院での予算審議を終了した。八十二年度予算に一兆円減税を盛り込むことを要求する野党と、これに反対し、逃れようとする政府自民党の攻防が繰り返されてきた。衆議院では、最終的に議長見解を野党が了承することとで収束した。減税問題に關する議長見解は、「①所得減税は今後できるだけ早い時期に実現できるように各党で最大限の努力を払う。②春闘勝利・スト宣言 3・31全国統一行動の中央集

と実施の時期を早期に引き出す闘いは、今からはじまろうとしている。それは春闘をはじめとする大衆闘争の中で持続され、強化されなければならない。三月三十一日八二SSDの成功に向けた、反核三千人署名運動を進める国民連動推進連絡会議主催の「八二平和のためのヒロシマ行動」が行われた。この集会には、全国各地から、二十万人が参加し、平和公園を

平和のための ヒロシマ行動へ20万人結集

5・23東京行動、SSDⅡへ更なる前進を!!

中心に広島市の町は、反核を願う人波で埋めつくされた。この空前の二十万人の参加は、婦人、宗教団体を含めた三千万署名運動のとりくみ、文学者アピールをはじめ各界の平和アピール等に見られる様に、反核運動が確実に国民運動として広がっていることを示している。また、反核、軍縮の一点で統一した今回の集会の成功は、平和運動における統一の必要性を改めて痛感させることだろう。しかしながら、大衆的な集会として成功した、この集会是「地球の破壊を防ぎましょう」という反核の素朴な意識の運動であることを見逃すことはできない。世界史の流れを決めるともいわれる八二SSDは、

決しようとしている。鈴木内閣は、一方で軍事防衛予算の突出に力を入れ他方で「行政改革」の名の下に国民生活の圧迫と収奪の強化をはかろうという姿勢を何ら変更していない。この六月七月には、第二次臨調の基本答申が予定されている。既にその骨格が示されている。この答申が実施されれば、医療費抑制や公務員給与の抑制はもとより、大きな大衆負担が課せられる。政府独占の軍拡・行革路線と対決する反独占勢力の巨大な結集と闘いが求められている。

実質賃金の向上へ 闘う八二春闘を

軍拡に反対し、生活防衛を断固勝ちとすることは、すべての労働者大衆の共通の願いであり、緊急な課題である。このような状況の中、八二春闘を勝利させることは、労働者階級が反独占の旗手として自らの責任を果す絶好の機会であり、後退することのできない課題でもある。昨年十月から十二月の国民総支出は、七年ぶりに前期を下回り、経済成長率も実質マイナスとなった。こ

超低額回答をハネかえす闘いを！
八二春闘は、三月二十五日現在、第一グループの回答が新聞労連を皮切りに続々と出ている。新聞労連は朝日新聞の五・七六%から南日本新聞の七・九七%の回答(第三・四次回答)となっている。また、民放労連は三月二十四日に回答が出され、加盟二十八組平均六・四%、全国一般は一・五五%、(一組組に満額回答三万円がある)中心となっている。金額にして一万五千八百円台の枠内で回答が出されている。総じて超低額回答と言わざるを得ない。こうした厳しい局面の中で八二春闘は山場を迎えようとしている。日経連の「GNP成長見通し四・一%」の枠内の賃上げしかできないとの資本の側の攻勢、臨調・行革と総労働へのしめつけは厳しさを増している。さらに八二年度GNPが七年ぶりにマイナス成長になることが発表される中で、労働者の生活破壊は、日を追うごとに尖鋭化している。

主 張 超低額回答をハネのけ
官民統一ストライキで闘い抜こう
官民統一ストライキを打ち抜こう
動労の全国戦術委員長会議・討議試案では、八二春闘真ただ中であって、次の様な試案を発表した。同試案は行革による合理化攻撃に対して、動労として「二部にある

は、日本が行うべきだ」としている。たしかに、自動車生産世界一位、粗鋼生産はソ連について世界第二位、資本主義国中第一位、労働生産性(一九七五年を一〇〇として)一四二(二位の仏は一三二)で世界第一位となっている。一方、労働分配率となるとデンマーク六一・四%、ベルギー五一・四%、カナダ・イギリス五一・三%、以下スウェーデン、アメリカ、西ドイツ、の次により日本は顔をみだして、三・八・九%という主要先進国の中で最も低い分配率を記録している。さらに、社会的な



3・21ヒロシマ行動に結集した二〇万の労働者、市民、学生ら

め過去にない異例の措置が必要」と述べざるを得なくなっている。世界経済の停滞と貿易摩擦の激化は、のつびきならぬいところに来ていゝるわけである。

有効な手が打たれなければ、世界恐慌が、資本主義世界経済の前にさしさまっているのである。そのものとも有効な手とは、高まる平和・軍縮の声にこたえて、緊張緩和東西協力、軍事費大幅削減を断行すること、それ

ーガンの度重なる強力な圧力、緊張激化政策をはねのけて、生産と雇用増、エネルギー安定供給をもたらすソ連・西シベリアガスパイプライン計画に調印している理由なのである。

日本の支配階級がレーガノミックスにならつてつづいてゐる緊縮予算、軍事費拡大、社会保障削減、行政改革路線は、今や益々不況を深刻化させるものであり、もはや、通用する余地がなくなつてきたのである。

(M)

82春闘 決戦段階へ

要求満額獲得めざし

官民統一ストで対決を

八二春闘は、労働四団体が例年になく足並みが一致し、一兆円減税と九%(定昇可)以上の賃上げ要求を掲げて、すでに臨戦体制に入っている。

九%二万円以上
最低限の要求
総評はこの労働四団体の
合意を踏まえて、賃上げ・減
税による可処分所得の増加
要求(内需拡大を主張する
考え方)として、一〇%二
万円以上の賃上げ、防衛費

一方、日経連は生産性上
昇率の範囲内(政府経済見
通しの計算で四・一%)で
の賃上げを主張している。
しかし、その一方で資本の
中にも内需拡大をとる意
図が現れている。この
主張は現在の労働界の賃
上げ論の主張を占めている
考えであり、一定の影響
力を持つ論理と言える。

強力なストライキ
で満額の獲得を



▲82春闘方針を討議する公労協全国代表者会議

同連系では、ゼンセン同
盟九%以上、造船重機労連
が八・七%一萬七千二百円、
電力労連が九%一萬八千円
など海員組合の十一・九%
二万七千円を除いて九%二
万円以下である。その他、
電機労連の九%程度をば
めとして、同盟系とほぼ同
様という。

これらの要求内容は、昨
年と比べ、減額もしくは同
程度となっており、一兆円
減税要求との二本立てを考
慮に入れても、最低限の要
求と言える。

私鉄・総連・ 交通ストでJC主導春闘打破を!!

私鉄総連執行部は、三月
十五日の地方連絡会・大手
組合委員長会議で、今春斗
初めにストライキの時期を
含む決戦構想の基本的な考
え方を提起した。内容は、
①回答指定日を四月七日か
九日の間に求める。②回
答に不満な場合は回答日か
ら中三日置いてストライキ
を構え、高額回答を引き出
す。であり、ストの規模等
は、今後JC回答日や春斗
全体の動きを見ながら地連
大手委員長会議を経て、三
十一日の拡大中央委員会
最終的なスト戦術を決める
ことにしている。

私鉄総連の今春闘に向け
た決意は、①82春斗では賃
上げと引き換えに差し出す
合理化は何ひとつ残ってい
ない。②82春闘を自らの
主体的条件を整えつつ、官
公労働者と民間労働者のジ
ョイントの役割を果たす。
と述べ、昨年のストなしを
打ち破る決意を新たにしてい
る。そして、賃上げ要求
は統一要求をふまえ、二万
円(十・四%)、臨時給〇・
二ヵ月分の積み上げ、産業
別最賃八三・〇〇を九二・

いずれにしても今春斗は
例年になく労働四団体の歩
調の一致のもとで、強力な
闘いを実現することにより、
要求の満額回答を実現させ
なければならない時に来て
いるといえる。

総評は、闘いの戦術とし
て、IMF・JCの一発回
答で相場が決まる傾向にあ
る最近の春斗打破をめざし
て、IMF・JCの回答の
押し上げを計る上、同時に
に、決戦の四月月上旬・中旬
にIMF・JCと私鉄・公
労協、公務員共闘の闘いを
結合させて、従来の官民
闘争のみの短期集中決戦
でいむとされている。

昨年は17年ぶりにストが
実現回避され、七・七三%
の低額回答に終わった。また、
従ってこの場合ストなし
春斗ではなく、交通を中心
とした強力な同時集中的な
ストライキ闘争の実現抜き
には、要求の実現は困難で
あることを明記すべきであ
る。ひいては、再びスト
イキ闘争を展開し、その力
でもって満額回答を引き出
すことが、政府・財界より
かけられている行革、重税
闘争への力ともなり、労働
運動の昨今の現状を打破す
ることにもつながると考え
られる。

職場だより

強まる国鉄攻撃 今、現場では...

仙台国鉄労働者

国鉄当局は、三十五万人
行なわれず、退職・転勤等
で三十名程の欠員に対し、
補充はたった十四名にすぎ
ない。そのうち寄せは、年休
の未消化として実質的な労
働強化となつて表わされて
いる。現に、一交代(午前八
時から翌日の午前八時まで
勤務)を三回(六日間)や
って休み、をくり返し、月
〇〇にする等の要求をか
かげている。

政府・独占は労働四団体
の統一要求九%を大巾に下
回る六%に抑え込もうとし
ている。こうした政府・独
占の抑圧路線上のJC主導
春斗を打ち破って、統一要
求九%以上を勝ちとるため
に、今日私鉄の果たさなけ
ればならない役割は重要で
ある。又、行革を中心とし
た交通のゼネストを闘い抜
かなければならない。この
ことによって初めて連敗春闘
からの脱出が可能となるで
あろう。労働運動の右から
の再編が進行するなかで、
闘う春闘の構築が今ほど重
要になつていく時はない。
その先頭に私鉄が立たなけ
ればならないであろう。

の体みが四・五日という例
もある。日勤とちがつて全
て交代制の職場では、これ
は極めてきびしいものでは
ある。

他方、外注化では、貨物
営業部門の民間委託が当局
から出されている。これに
よる当局のメリットは、民
間労働者の低賃金を前提と
したコストダウンであるが
更に公共性の無視、労働者
間に分裂を持ち込むものと
してもある。

しかし、これに対する組
合側の対応は鈍く、貨物営
業部門が全員第二組合で占
められていることもあって
条件はきびしい。又、組合
内でも、外注化に対する闘
い、減税に関する野党合
意で一応決着がついた。合
意内容は、①今後できるだ
け早い時期に所得税減税で
きるよう各党が協調、努力
する。②五七年度予算の成
立をまつて衆院大蔵委に小
委員会を作り所得税減税を
行う場合の税制改正、財源
等について検討を行う。
二点である。八二年度予算
は、四月七日には参院で成
立することとなった。

与野党合意は玉虫色解決
この合意に対し、野党側
は、「小委員会での検討には
八二年度の減税を含む」と
主張しているが、自民党は
「表現通りで、それ以上の
何も約束していない」とし
ており、与野党合意で常に
見られる玉虫色になつてい
るが、せんじつめれば「二
兆円減税要求」は、三月六日
政府自民党の厚い壁を破れ
ど望みはないが、八三年度
はうまくいけば、実現する
かもしれない」とのこと。

労働四団体の
一兆円減税要求の闘い
一兆円減税要求は、二年
連続の実質賃金の低下と、
七七年度以降、五年間も所
得税の課税最低限が据えお
かれていたこと、実質増税
の中で、労働者階級を中心
にした国民階級の広汎な要
求として、今八二春闘の中
心課題として聞かれてきた。
昨年一〇月二六日の労働
四団体の事務局長・書記長
会議の中で「内需拡大を政
府に迫り、基礎控除、扶養
控除の引き上げを中心に一
兆円減税を実現させる」を

一兆円減税要求—政府・自民党拒否 議会内玉虫色解決

はじめに
八二春闘の制度政策要求
の中心として労働四団体が
一致して進めてきた「二兆
円減税要求」は、三月六日
政府自民党の厚い壁を破れ
ど望みはないが、八三年度
はうまくいけば、実現する
かもしれない」とのこと。

労働四団体の
一兆円減税要求の闘い
一兆円減税要求は、二年
連続の実質賃金の低下と、
七七年度以降、五年間も所
得税の課税最低限が据えお
かれていたこと、実質増税
の中で、労働者階級を中心
にした国民階級の広汎な要
求として、今八二春闘の中
心課題として聞かれてきた。
昨年一〇月二六日の労働
四団体の事務局長・書記長
会議の中で「内需拡大を政
府に迫り、基礎控除、扶養
控除の引き上げを中心に一
兆円減税を実現させる」を

「準備会」参加をめぐり揺れる総評 混乱の原因は何か

混乱の原因は、四月一日
の第五回合会には第二陣を
参加させるべく必死に内部
調整を進めている。第二陣
参加予定単産は九つ。私鉄、
金全・炭労・全自交は何と
か四月一日参加で固まっ
ているものの、他の紙パ・全
造船・全海運・全電力・織
維労連の五単産は参加する
事は決まっているものの時
期が早すぎると四月一日参
加に極めて消極的である。
方針通り四月一日に九単産
が揃って参加出来るかどうか

か微妙と言わねばならな
い。何故か。機関決定とし
て参加は決めたものの、い
づれも内部の強い反発を少
数の差で否決しての「綱渡
り」的な決定である。強引
に事を進めれば、即座に組
織分裂に突き進む危険と常
に背中合わせの状態にある
。準備会は、四月一日
の第五回合会には第二陣を
参加させるべく必死に内部
調整を進めている。第二陣
参加予定単産は九つ。私鉄、
金全・炭労・全自交は何と
か四月一日参加で固まっ
ているものの、他の紙パ・全
造船・全海運・全電力・織
維労連の五単産は参加する
事は決まっているものの時
期が早すぎると四月一日参
加に極めて消極的である。
方針通り四月一日に九単産
が揃って参加出来るかどうか

からなのだ。一方で既に参
加している鉄鋼労連は、総
評参加組合の連絡会議結成
を任せる事の危険性を生活
や、あくまで統一対応を
堅持しての参加と総評方
針に反発し「各単産自体の
主観のみに基づいた参加を」
と批判を強めている。準備
会第二陣参加をめぐる、こ
みこみを変えていこうと
実現、九%統一要求基準を
経連回答は、四・一%程度

耳を貸すほどお人好しでは
ない。同盟でさえ「スピ
ツからブルドックへの変身」
「強力なスト行使をも許さ
ぬ」と言わざるを得ないの
は、それが故である。
組合員が判断材料とする
のは、唯一眼下の闘いの有
り様、すなわち一兆円減税
自衛・低額要求に対する日
組連回答は、四・一%程度

電気労連 68中委
強まる賃金自衛に対する不満
電気の最低基準で闘いの強化を

電気労連は、二月十六
十七日の両日、静岡県・修
善寺総合会館で第六十八回
中央委員会を行なった。
同中央委は、退職金・一
時金闘争の総括、八二春闘
方針では、減税・賃上げ、
抑圧をすることで努力して
きたが、一方でそれは、賃
金抑制、経済整合性論に傾
いて組合員の生活がおろそ
かにされてきた感がある。
今春闘で幹部はこの姿勢を
改め生活を守ることを力点

い。産別最賃、十八歳と二
十五歳の最賃に力を入れて
やってもらいたい。また、
やったけどしかなかった
なく、要求に対して責任を
もつことだ。これまで物価
抑制をすることで努力して
きたが、一方でそれは、賃
金抑制、経済整合性論に傾
いて組合員の生活がおろそ
かにされてきた感がある。
今春闘で幹部はこの姿勢を
改め生活を守ることを力点

